



やわらぎの鐘

青梅市立第一中学校
学校だより 第27号
体育大会 特集号
令和5年6月 6日

5・27 第77回 体育大会スローガン 「It's 勝 time ~最高の仲間達と~」

校長 川窪 公夫

全力が作り上げた「集団の美」と「感動」をありがとう！！

4年ぶりに御来賓や地域の方々をお招きしての体育大会ができました。熱中症対策もあり、今年度より、5月開催に変更しました。また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことに伴い、午後の部も再開しました。また、新たに全校共通の学年種目に大縄跳びが加わったこともあり、伝統あるマスゲームの一部を継承しながら、新趣向の体育大会ができたと思います。標題のスローガンには、「勝利とは、クラスごとの勝敗を競うだけではない。練習などを通してクラスがまとまり、団結することこそが本当の勝利といえる。クラスだけでなく、学年、そして全校が勝利に向かって、最高の時間を過ごそう。」という意味が込められています。

前日の最後の全校練習では、3年生の実行委員のリーダーシップのもと、色別縦割りそれぞれ円陣を組み、最後は全校で大きな円陣を組み、本番の成功を誓い合いました。

当日は、暑い一日になりましたが、一中生は、開会式から閉会式まで、全ての競技・演技・係活動に一生懸命に頑張ってくれました。大縄跳びでは、3年生が下級生のお手本となる団結力を見せました。



ラジオ体操

代表 3B

また、伝統のマスゲームでは、額を地面に付ける程に集中し、ひたむきに演じている生徒が多く、その心意気が生み出す「集団の美」に感動しました。

本校の卒業生でもあり、マスゲームの指導をした深澤

教諭は、「一中生は、伝統あるマスゲーム作りに期待と使命感を誇りとし、演技に臨んでいます。」と話していました。この体育大会を通して、自分の役割に責任をもち、仲間を応援し、相手を尊重しながら、勝負に挑むなど、一中生らしい振る舞いをたくさん見ることができました。悔しかったり、嬉しかったりしながらもドキドキ、ワクワクしたその一瞬がきっと、永遠になると思います。多くの感動のドラマをありがとう！
一中生は素晴らしい！ 実行委員の生徒達を中心にクラス・学年そして、全校が高め合うために取り組んだ日々が宝物です。大きな事故や怪我もなく終えることができました。結びに、体育大会を支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。裏面に感想文等を一部抜粋して掲載



伝統のマスゲーム(集団の美)

学級対抗	優勝 (クラス・色)	得点
第1学年	1年C組(黄)	159
第2学年	2年B組(青)	173
第3学年	3年C組(黄)	177
G組	敢闘賞	910 目標750点
色別大縄跳	赤組 344回(1~3年合計)	
【新記録 = 全て50mハードル走】		
〔女子〕 2C	<input type="text"/>	9秒08
3B	<input type="text"/>	9秒06
〔男子〕 1C	<input type="text"/>	8秒80
2A	<input type="text"/>	8秒27
3C	<input type="text"/>	8秒00
＜応援ポスターコンクール＞		
最優秀賞 2年A組	優秀賞 3年C組	優良賞 3年B組

<選手宣誓>

宣誓!我々選手一同は、これまでの練習の成果を存分に発揮し、相手を尊重するとともに、体育大会が行えることに感謝し、日頃から支えてくださっている方々に感謝の気持ちと感動を与えられるよう、正々堂々と戦い抜くことを誓います。

令和5年5月27日

選手代表 実行委員長 3年A組



<開会式 生徒代表あいさつ>

皆さん、おはようございます。待ちに待った体育大会が始まりました。1年生は初めての体育大会です。行事はクラスや学年での絆を深めるチャンスです。皆で協力し、先輩方からたくさんのことを学んでください。2年生は、2回目の体育大会です。クラスが変わり、新しいメンバーとの行事ですが、先輩として成長した姿を見せられるように頑張ってください。次にG組、練習した成果を発揮できるよう声を掛け合い、敢闘賞獲得を目指しましょう。そして3年生、今まで楽しい事や辛い事を乗り越えてきたこの学年で、心を一つにし、悔いの残らない体育大会にしましょう。また、この体育大会は、沢山の人の支えられて成り立っています。今日までクラスを引っ張ってくれた実行委員の皆さん。細やかな指導をしてくださった先生方。いつも温かく見守ってくれた保護者・地域の皆様の一つ一つの行動で感謝の気持ちを伝えましょう。仲間と過ごす時間が最高の思い出となるよう、勝負の中にも思いやりをもって体育大会を成功させましょう。この行事が皆さんの青春の1ページなる事を願っています。
(生徒会長 3C)

<閉会の言葉>

皆さん、暑い中、お疲れ様でした。約2週間、短期間ながらも、精一杯励んできた練習の成果を発揮することはできましたか。1年生は初めての体育大会ということもあり、上手い出来ないことも多かったと思いますが、一人一人の頑張る姿や団結力が見られる場面が多くあり、その成長ぶりに驚きました。2年生は、先輩として挑む初めての体育大会でしたが、真剣に取り組む先輩としての一面が多くあり、安心しました。3年生は、最高学年として、学校の看板となりつつ、最高の思い出をつくることはできましたか。特に大縄では、3年生として意地を見せられたのではないかと思います。今年のスローガン「It's 勝 time~最高の仲間達と~」の通り、勝利を目指して、精一杯、競技をし、仲間と全力で応援し合ったことが体育大会の成果だったのではないのでしょうか。その成果を今後の学校生活にも生かしていきましょう。最後になりますが、今日の体育大会に向けて、準備・進行に協力してくださった生徒の皆さん。そして、練習期間から、私達のことを支え、見守ってくれた先生方、暑い中、朝から参観して頂いた地域の方々、保護者の方々、最後まで温かな声援を送って頂き、ありがとうございました。3年生にとっては、最後の体育大会となりましたが、来年度、後輩ができて先輩となる1年生、最高学年となる2年生の更なる成長を期待し閉会の言葉とします。
(実行委員長 3A)



指揮 3B

【3年生は、作文ではなく、全員が全員に賞状を作る取組をしました】

- 賞状 3A 「あなたは、50m ハードルにおいて、周りが速い中、頑張って走っていて良かったです!! 係の仕事もちゃんと、こなしていたので、素晴らしいです。よって、この賞状を贈ります。」
(3A)
- 賞状 3B 鈴木 心海 「あなたは全員リレーでとても速く走ったり、自分の出していない時は、大きな声で応援していたので、これを賞します。」
(3B)
- アンカー速かったで賞 3C 「あなたは全員リレーのアンカーとして、クラスを引っ張り、一位でゴールテープを切ることができたため、これを賞します。」
(3C)



大縄跳びでは、最初は、3回くらいしか跳べませんでした。しかし練習の成果もあり本番では、今までで、一番多く跳ぶことができました。全員リレーでは、バトンの練習をかなりしたので、誰もバトンを落とさずにゴール出来ました。順位は残念でしたが、皆、一生懸命走ったので良かったです。また、準備や片付けも大変でしたが、頑張りました。今回の体育大会を通して、行事に全力を尽くすと悔しさや嬉しさをより感じられることを学びました。(3G)

僕にとって今年の体育大会は、すごく印象に残りました。僕は、ボールのこぎやと選抜リレーに出る予定でしたが、当日2日前に怪我をして、出られなくなってしまいました。悔しい気持ちで体育大会を見ていました。全員リレーでクラスのみんなが悔しがっている時、僕は何と声をかければいいのか分かりませんでした。そして、最後のマスゲームを後ろから見た時は、初めて全学年が揃ってやっていることに感動しました。僕は今回、怪我をして出られず、みんなと悔しがれなかったため、来年は、怪我をしないようにしたいです。
(2C)



体育大会では自分達のクラスで協力している所や大きな声で応援していたりして、1年生から3年生まで素敵な思い出になったと思います。全員リレーではクラスが協力するだけではなく、みんなのいろいろな思い出が詰まった一つだと思っています。バトンを受け取る、それぞれの思いを受け取って走る。自分が実際に応援している時を思い出すと凄く印象に残りました。そして、大縄では、練習中初めは、なかなか揃わない事もあり、実行委員を中心に色々な方法で試したりしてみました。途中からどんどん跳べるようになり、自然と声も揃っていきました。それは、C組の一人一人の思いが一緒だから、こんなにも揃うのかなと思いました。それぞれのクラスで当日揃っていた所は一度引っ掛かっても諦めずチーム全体で跳び続けた事だと思っています。今回の体育大会を通し、団結力・絆が深まったと思います。(1C)

